

事 務 連 絡

平成22年11月12日

各都道府県介護保険担当課（室）

各市町村介護保険担当課（室）

各介護保険関係団体 御中

厚生労働省老健局老人保健課

介護予防事業に関する国民の皆さまからのご意見募集の結果について

日頃より、介護保険制度の円滑な実施にご尽力いただきまして厚く御礼申し上げます。

標記について、平成22年9月6日から10月5日まで、厚生労働省のホームページを通じてご意見を募集しました。

お寄せいただいたご意見について、別添の通り取りまとめましたので、ご報告します。

なお、厚生労働省ホームページのパブリックコメントのその他のご意見募集等のページにも別添を掲載しております。

（URL：<http://www.mhlw.go.jp/public/kekka/2010/p1112-1.html>）

老健局老人保健課

日野原・大島・後藤

（内線 3942・3965・3947）

電 話 03-5253-1111（代表）

「介護予防事業に関する国民の皆さまからのご意見募集」

(結果概要について)

平成22年11月12日
厚生労働省老健局老人保健課

1. 調査時期

平成22年9月6日(月)～10月5日(火)

2. 調査対象

一般の方、自治体職員(都道府県、市町村)、地域包括支援センターの職員

3. 回収方法

厚生労働省のホームページの意見募集のページにて掲載された「介護予防事業に関する国民の皆さまからのご意見募集」において、メール、郵送、FAX等により、意見募集を行った。

なお、今回は介護予防事業のうち、特に「二次予防事業()」についてご意見募集を行った。

二次予防事業とは、要介護・要支援状態となる可能性のある65歳以上の方を対象として、運動・栄養・口腔等のプログラムを実施する事業である。

4. 回答総数

1088件

《内訳》一般の方 418件、都道府県 23件、市町村 247件、
地域包括支援センター 385件、所属不明 15件

結果の主なポイント

一般の方のうち、介護予防事業の二次予防事業(旧:特定高齢者施策)を知っている割合	81.6%
一般の方で二次予防事業のプログラムの非参加者のうち、二次予防事業(旧:特定高齢者施策)の対象者になった場合、事業に参加してみたい方の割合	66.3%
全ての回答者について	
・ 二次予防事業に対する評価:「非常によい」「よい」の割合	52.1%
・ 今後の介護予防事業のあり方について:「充実する」「継続する」の割合	61.2%
・ 今後の介護予防事業の財源のあり方について:「現行通り」の割合	60.0%

1. 回答者の概要

1) 年齢層(一般の方)

	20歳代	30歳代	40-64歳	65-74歳	75歳以上	年齢不詳	計
総数	8 1.9%	65 15.6%	181 43.3%	65 15.6%	86 20.6%	13 3.1%	418 件 100.0 %
男	1	34	32	16	22	-	105
女	7	31	147	47	64	-	296
不明	0	0	2	2	0	13	17

2) 介護保険制度の利用状況等について(一般の方)

単位: 件 (複数選択可)

介護保険関係の仕事に従事したことがある	179	42.8%
介護予防事業を含む介護保険制度のサービスを利用したことがある	131	31.3%
自分も家族も利用したことがない	119	28.5%
家族が利用したことがある	91	21.8%
介護保険関係の仕事には従事したことがない	64	15.3%
家族が介護保険関係の仕事に従事したことがある	35	8.3%
自治体(都道府県、市町村)の介護保険関係の部署で勤務したことがある	10	2.4%
その他	17	4.1%
回答者総数	418	100.0%

3) 職種について(都道府県、市町村、地域包括支援センターの方)

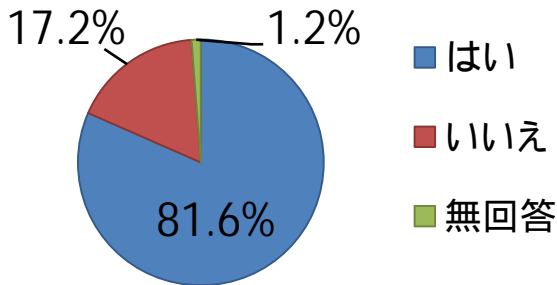
単位: 件 (複数選択可)

保健師、経験のある看護師	384	58.6%
主任介護支援専門員	112	17.1%
社会福祉士	57	8.7%
事務職	44	6.7%
その他	39	6.0%
回答者総数	655	100.0%

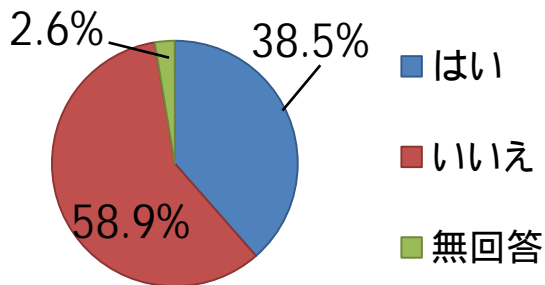
2. 二次予防事業の認知度と事業参加の有無 (一般の方のみ回答)

一般の方のうち、二次予防事業を知っている者の割合は81.6%であった(図1)。
二次予防事業のプログラムに参加したことがある者の割合は38.5%であった(図2)。

[図1] 介護予防事業の二次予防事業(旧:特定高齢者施策)を知っているか
(回答者418名)



[図2] 二次予防事業(旧:特定高齢者施策)のプログラムに参加したことがあるか
(回答者418名)



3. 二次予防事業のプログラムの参加者について

(一般の方のみ回答)


二次予防事業のプログラムに参加したことがある者において、参加プログラムの割合は、「運動のプログラム」が80.7%であり、他に、「口腔のプログラム」が50.3%、「栄養のプログラム」が38.5%の順に多かった(表1)。

プログラムに参加した感想については、「面白かった・楽しかった」が77.0%、「人との関わりが増えた・知り合いができた」が72.0%、「予防の効果があった」が67.7%の順に多かった(表2)。

[表1] どのようなプログラムに参加したか

単位:件(複数選択可)


運動のプログラム	130	80.7%
口腔のプログラム	81	50.3%
栄養のプログラム	62	38.5%
上記のプログラムを組み合わせた複合プログラム	44	27.3%
転倒予防プログラム	39	24.2%
膝痛・腰痛対策のプログラム	37	23.0%
認知症の予防・支援プログラム	32	19.9%
閉じこもりの予防・支援プログラム	24	14.9%
うつ病の予防・支援プログラム	13	8.1%
ポイント制などの独自の還元システムが付いたプログラム	2	1.2%
その他	0	0.0%
回答者総数	161	100.0%

 50.0%以上を示す数値

[表2] プログラムに参加した感想について

単位:件(複数選択可)


面白かった・楽しかった	124	77.0%
人との関わりが増えた・知り合いができた	116	72.0%
予防の効果があった	109	67.7%
外出する機会が増えた	86	53.4%
いきいきとした日常生活が送れるようになった	86	53.4%
何も感想はない	4	2.5%
つまらなかった	1	0.6%
役に立たなかった	1	0.6%
その他	11	6.8%
回答者総数	161	100.0%

 50.0%以上を示す数値

二次予防事業のプログラムに参加したことがある者において、今後、参加してみたいプログラムの割合として、「運動のプログラム」が63.4%、「栄養のプログラム」が57.1%であり、他に、「認知症の予防・支援プログラム」が51.5%、「膝痛・腰痛対策のプログラム」が50.3%、「転倒予防のプログラム」が50.3%であった。(表3)。

[表3] 今後、どのようなプログラムに参加したいか

運動のプログラム	102	63.4%
栄養のプログラム	92	57.1%
認知症の予防・支援プログラム	83	51.6%
膝痛・腰痛対策のプログラム	81	50.3%
転倒予防プログラム	81	50.3%
口腔のプログラム	71	44.1%
閉じこもりの予防・支援プログラム	50	31.1%
うつ病の予防・支援プログラム	49	30.4%
上記のプログラムを組み合わせた複合プログラム	40	24.8%
ポイント制などの独自の還元システムが付いたプログラム	12	7.5%
特になし	5	3.1%
その他	2	1.2%
回答者総数	161	100.0%

 ..50.0%以上を示す数値

4. 二次予防事業のプログラムの非参加者について

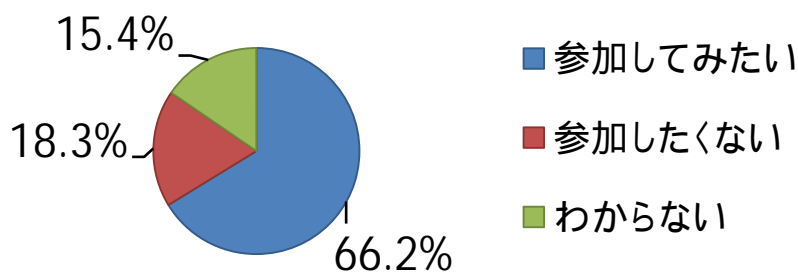
(一般の方のみ回答)

二次予防事業のプログラムに参加したことがない者において、二次予防事業対象者になった場合に事業に「参加してみたい」と回答した者は66.2%であった(図3)。

二次予防事業のプログラムに参加したことがなく、二次予防事業対象者になった場合に事業に参加してみたいと回答した理由について、「介護状態になることの予防になりそうだから」が71.8%で、「健康によさそうだから」が64.4%であった(表4)。

一方、参加したくない理由について、「介護状態になることの予防にならなそうだから」が42.2%であった(表5)。

[図3] 二次予防事業(旧:特定高齢者施策)の対象者になった場合、事業に参加したいか
(回答者246名)



[表4] 参加してみたい理由について

(「参加してみたい」を回答した方(163名)の回答内容を集計)

単位:件(複数選択可)

介護状態になることの予防になりそうだから	117	71.8%
健康によさそうだから	105	64.4%
面白そう・楽しそうだから	43	26.4%
知り合いが増えそうだから	37	22.7%
その他	6	3.7%
回答者総数	163	100.0%

[表5] 参加したくない理由について

(「参加したくない」を回答した方(45名)の回答内容を集計)


単位:件(複数選択可)

介護状態になることの予防にならなそうだから	19	42.2%
魅力的なプログラムがないから	16	35.6%
介護予防のプログラムに参加する必要があるから	9	20.0%
あまり興味がないから	9	20.0%
プログラム開催場所への交通の便が不便だから	7	15.6%
その他	17	37.8%
回答者総数	45	100.0%

二次予防事業のプログラムの非参加者で二次予防事業対象者になった場合に事業に参加してみたいと回答した者において、今後、参加してみたいプログラムとして、「運動のプログラム」が85.9%であり、「栄養のプログラム」が62.3%、「認知症の予防・支援プログラム」が61.3%の順に多かった(表6)。

[表6] 今後参加してみたいプログラムについて

運動のプログラム	140	85.9%
栄養のプログラム	103	63.2%
認知症の予防・支援プログラム	100	61.3%
口腔のプログラム	85	52.1%
膝痛・腰痛対策のプログラム	84	51.5%
転倒予防プログラム	69	42.3%
上記のプログラムを組み合わせた複合プログラム	60	36.8%
うつ病の予防・支援プログラム	50	30.7%
閉じこもりの予防・支援プログラム	44	27.0%
ポイント制などの独自の還元システムが付いたプログラム	25	15.3%
その他	5	3.1%
回答者総数	163	100.0%

 ..50.0%以上を示す数値

5. 参加してみたいプログラムの比較について (一般の方のみ回答)

「3. 二次予防事業のプログラムの参加者」「4. 二次予防事業のプログラムの非参加者」について、各プログラムに関する回答の比較を行った。

二次予防事業のプログラムに参加したことがある者において、実施市町村が少ないため参加率は少ないが、今後、参加してみたいプログラムとして、「認知症の予防・支援プログラム」(51.6%)、「膝痛・腰痛対策のプログラム」(50.3%)、「転倒予防プログラム」(50.3%)の割合が高かった。二次予防事業のプログラムに参加したことがない者において、二次予防事業の対象者になった場合に参加してみたいプログラムとして、運動・栄養・口腔のプログラム以外では、「認知症の予防・支援プログラム」(61.3%)、「膝痛・腰痛対策のプログラム」(51.5%)の割合が高かった。

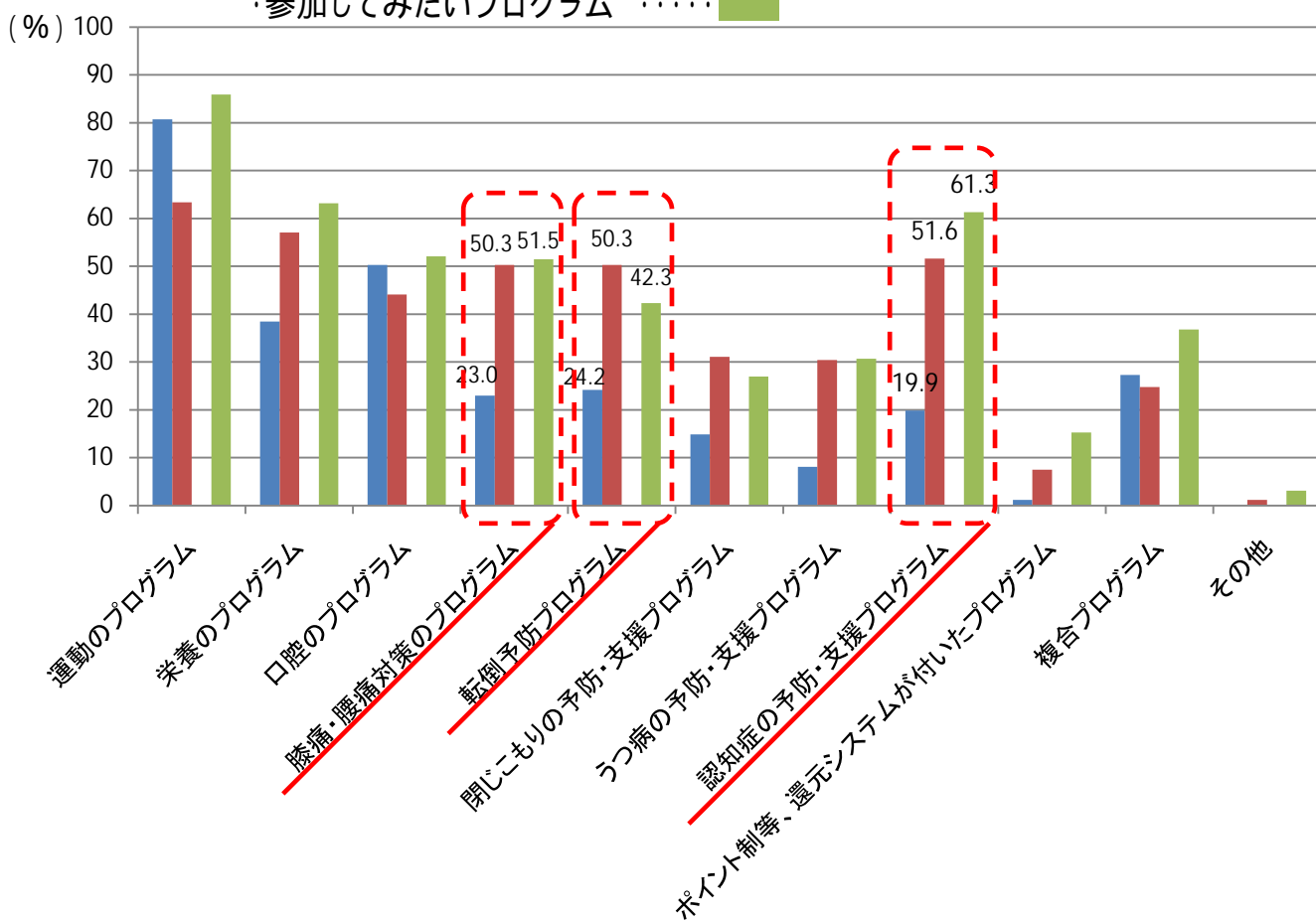
[図4] 参加してみたいプログラムに関する比較

対象：二次予防事業のプログラムに参加したことがある方(161名)

- ・今までに参加したプログラム …… ■
- ・今後、参加してみたいプログラム …… ■

対象：二次予防事業の対象者になった場合に、事業に参加してみたい方(163名)

- ・参加してみたいプログラム …… ■

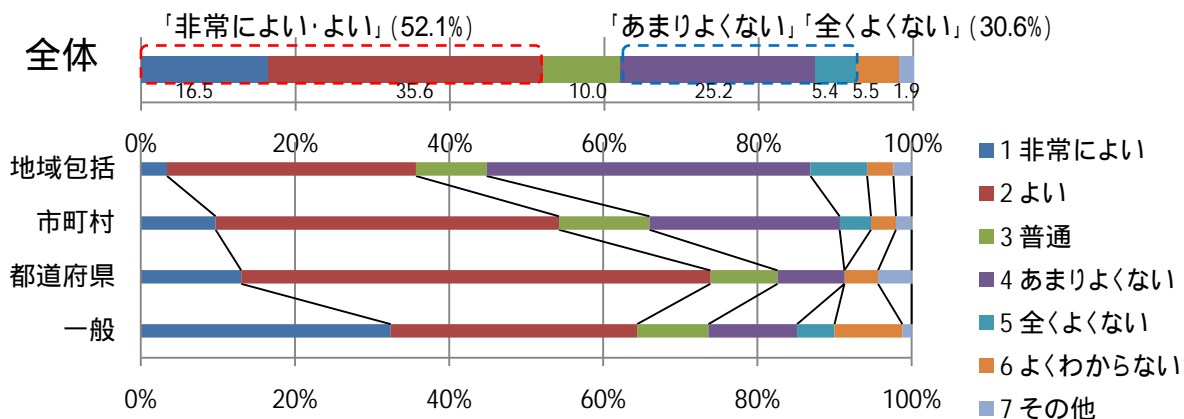


6. 二次予防事業に対する評価

二次予防事業に対する評価として、「非常によい」が16.5%、「よい」が35.6%であり、合わせて52.1%であった。

一方、「あまりよくない」が25.2%、「全くよくない」が5.4%であり、合わせて30.6%であった。

[図5] 二次予防事業に対する評価



[表7] 二次予防事業に対する評価の内訳

	全体		地域包括		市町村		都道府県		一般	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
非常によい	177	16.5%	13	3.4%	24	9.7%	3	13.0%	133	32.4%
よい	383	35.6%	123	32.3%	110	44.5%	14	60.9%	131	32.0%
普通	107	10.0%	35	9.2%	29	11.7%	2	8.7%	38	9.3%
あまりよくない	271	25.2%	160	42.0%	61	24.7%	2	8.7%	47	11.5%
全くよくない	58	5.4%	28	7.3%	10	4.0%	0	0.0%	20	4.9%
よくわからない	59	5.5%	13	3.4%	8	3.2%	1	4.3%	36	8.8%
その他	20	1.9%	9	2.4%	5	2.0%	1	4.3%	5	1.2%
回答者総数 ()	1075	100.0%	381	100.0%	247	100.0%	23	100.0%	410	100.0%

回答者総数には所属不明者の回答14件を含む

二次予防事業に対して「非常によい」「よい」と評価した理由として、「人との関わりが増える・知り合いができる」が74.6%で、「予防の効果がある」が73.4%、「外出する機会が増える」が62.7%であった(表8)。

一方、「あまりよくない」「全くよくない」と評価した理由として、「参加希望者が少ない」が65.3%、「参加するまでに手間がかかる」が63.2%であった(表9)。

[表8] 「非常によい」「よい」を選択した方の理由

単位:件(複数選択可)

	全体		地域包括		市町村		都道府県		一般	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
人との関わりが増える・知り合いができる	418	74.6%	109	80.1%	103	76.9%	13	76.5%	187	70.8%
予防の効果がある	411	73.4%	88	64.7%	99	73.9%	15	88.2%	203	76.9%
外出する機会が増える	351	62.7%	88	64.7%	99	73.9%	12	70.6%	147	55.7%
面白い・楽しい	284	50.7%	71	52.2%	66	49.3%	10	58.8%	133	50.4%
納めている介護保険料がこのよう な形で還元されるのはよいことだ	207	37.0%	24	17.6%	40	29.9%	6	35.3%	133	50.4%
その他	37	6.6%	10	7.4%	19	14.2%	0	0%	6	2.3%
回答者総数	560	100.0%	136	100.0%	134	100.0%	17	100.0%	264	100.0%

■・・・50.0%以上を示す数値

[表9] 「あまりよくない」「全くよくない」を選択した方の理由

単位:件(複数選択可)

	全体		地域包括		市町村		都道府県		一般	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
参加希望者が少ない	215	65.3%	130	69.1%	52	73.2%	2	100%	30	44.8%
参加するまでに手間がかかる	208	63.2%	134	71.3%	50	70.4%	2	100%	21	31.3%
予防の効果がない	71	21.6%	45	23.9%	6	8.5%	0	0%	20	29.9%
介護保険の財源で保険給付以外の 事業を行うのはよくない	58	17.6%	21	11.2%	4	5.6%	0	0%	33	49.3%
面白くない・つまらない	24	7.3%	8	4.3%	4	5.6%	0	0%	12	17.9%
その他	126	38.3%	76	40.4%	25	35.2%	1	50.0%	24	35.8%
回答者総数	329	100.0%	188	100.0%	71	100.0%	2	100.0%	67	100.0%

■・・・50.0%以上を示す数値

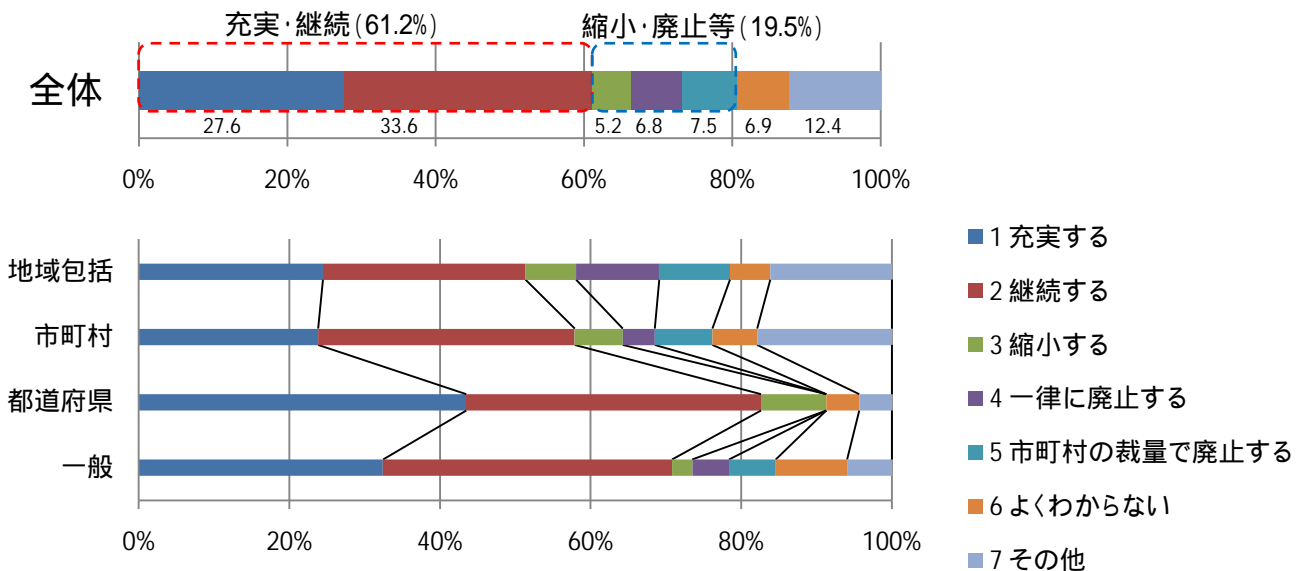
7. 今後の二次予防事業のあり方について

今後の二次予防事業のあり方について、「充実する」が27.6%、「継続する」が33.6%であり、合わせて61.2%であった(図6)。

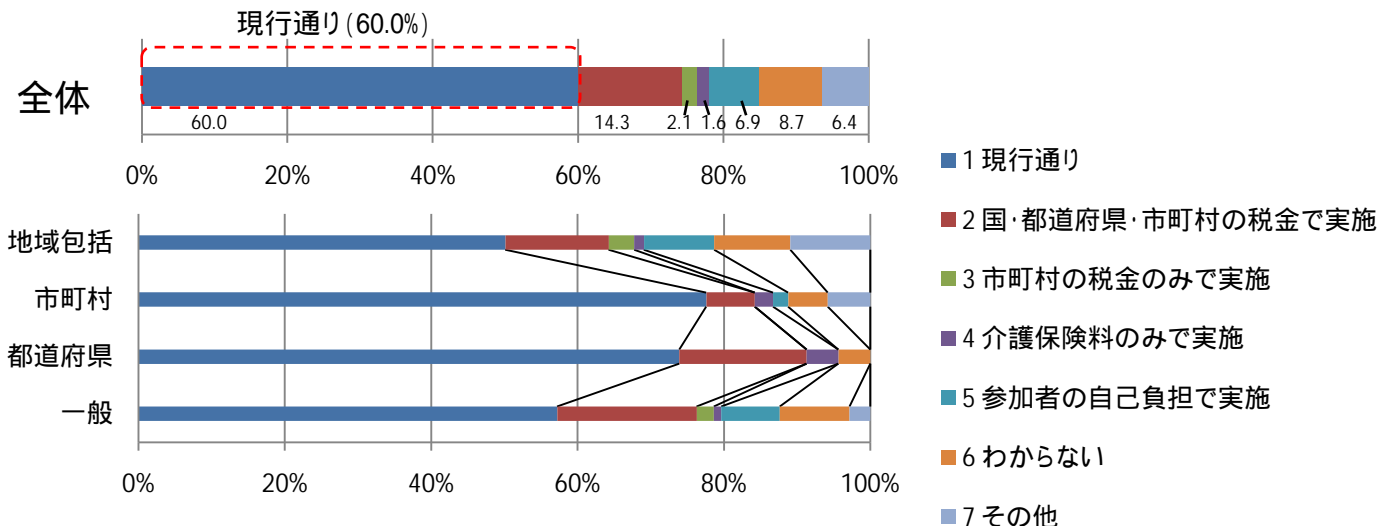
一方、「縮小する」が5.2%、「一律に廃止する」が6.8%、「市町村の裁量で廃止する」が7.5%であり、合わせて19.5%であった(図6)。

今後の二次予防事業の財源のあり方について、「現行通り」が60.0%であった(図7)。

[図6] 今後の二次予防事業のあり方について



[図7] 今後の二次予防事業の財源のあり方について



8. 二次予防事業に対するご意見等

(自由記載欄における主な意見をまとめたもの)

二次予防事業に対する評価について(128件)

- ・プログラム期間を延ばしてほしい(短すぎて効果が持続しない等)。(23)
- ・手続きを簡単にしてほしい。(21)
- ・参加しやすくしてほしい(事業所が遠い、開催場所が少ない等)。(21)
- ・プログラム内容を工夫してほしい。(19)
- ・広く世間に周知してほしい。(14)
- ・本当に参加すべき、ハイリスクの方が参加できていないのではないか。(8)
- ・その他(よく分からない、自分にはまだ必要ない、対象者の年齢層を広げてほしい等)。(22)

今後の二次予防事業のあり方について(149件)

- ・一次予防事業も含め地域全体の事業として充実してほしい。(31)
- ・対象者・手続き・評価等の見直しが必要。(25)
- ・対象者の把握等、システム面の強化が必要。(24)
- ・様々な対象者が参加しやすい環境にしてほしい。(22)
- ・認知症予防等、プログラム内容をさらに充実すべき。(20)
- ・自治体の裁量権に任せるべき。(15)
- ・その他(さらなる周知が必要、非該当者への配慮が必要、担当者のレベル向上が必要等)。(12)

今後の二次予防事業の財源のあり方について(81件)

- ・参加者も一部負担をすべき。(39)
- ・二次予防事業の予算の充実が必要。(7)
- ・一次予防事業へ予算を配分する。(6)
- ・廃止すべき。(6)
- ・その他(地域包括支援センターの報酬増、介護保険制度全体への疑問等)。(23)